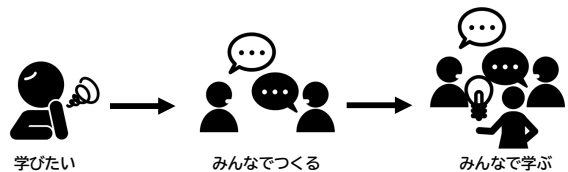


「わたしの学び」が「みんなの学び」に。それはやがて「まちの学び」に。

ischoolは、個人の学びをみんなでシェアし、市民が「だれでも先生」「だれでも生徒」となり、地域で学び合うことができるような学びの場を目指します。

そこで、講座をつくりたい人・学びたいテーマがある人、講座の運営をサポートしたい人を「ischool企画部」として募集し、市民主体の学びを促進します。



▶ ischool企画部の役割

講座の企画・コーディネート

学びたいテーマや先生を決めるところから、タイトルや告知文の作成、先生との打ち合わせ、授業当日のコーディネートまでを通して行う

講座当日の運営・レポート

関心がある講座にスタッフとして参加し、設営・受付など、講座の場づくりを行う。また、レポート・写真で授業での学びや気づきを記録し、後日WEB媒体で学びをシェア

市内の気になる人や活動の場を訪れ、学びと交流を楽しむフィールドワーク

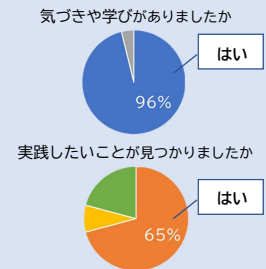
地域資源を通じて生駒を再発見し、活動実践者から話を聞いたり、参加者同士が意見交換をしたりしながら、「交流」や「対話」を重視する新しい学びの場を創出するために実施します。

- 主催：生涯学習課（市民共催）
- 対象：視野を広げたい人（市内外問わず）
- とき：年4回+交流会1回
- ところ：市内各地（屋内・屋外問わず）



令和3年度の実施内容

- 第1回：高山ものづくり体感ツアー 協力：高山こもれび市
- 第2回：図書館バックステージ 協力：図書館 市民ボランティア団体
- 第3回：謎解きDEまち歩き 協力：都市計画課・住宅政策室 公園にいこーえん
- 交流会：社会見学の作戦会議（市民共催に向けた企画会議）



学びはもっとゆるくていい。今よりも少し素敵な明日のために学ぶ。

「地域に関すること」「新しい働き方・暮らし方につながることを軸に幅広いテーマで、ワーク・ライフ・コミュニティが整った豊かな暮らしのために学びます。

テーマ：地域に関すること

地域の魅力 地域課題

新しい働き方・暮らし方に関すること

リカレント教育 ソーシャルビジネス 住まい 地産地消 ダイバーシティ など

主催：① ischool企画部 ② 生駒市の各課

③ 民間企業（生駒市協創対話窓口での募集、SDGsネットワーク会員）等

対象：主に働き盛り世代、視野を広げたい人

とき：月1回程度（提案があれば随時）

ところ：市内各地（公園や田畑、カフェやスーパーなど、屋内外さまざまな場所で実施）

▶ オトナの社会見学や講座の検索、レポートを掲載する「学びのポータルサイト」を開設し、いつでも・だれでも・どこでも学びにアクセスできる環境を整えます。

▶ ischoolでの学びをきっかけに、チャレンジしたいことや活動したいことを見つけた人を次のステージにつなぎます。